

障害のある人の「働きたい」を 応援する共働宣言

～共に働き・共に生きる社会づくりを目指して～

私たちは、障害があっても無くても「人は一定の年齢になったら働く」ということが当たり前になるように願っています。そこで、障害のある人の立場、障害のある人の暮らしを支える福祉の立場、就労支援をする立場、障害のある人を雇用する企業の立場、そしてそれらを取り結ぶ行政の立場から、あるべき姿について話し合いました。

皆で話し合ううち、「もっと働ける…」そんな勇気と確信が湧いてきました。そして、「障害のある人もない人も共に働き・共に生きる社会をめざす」という「みんなのための社会」を構想し、多くの人に伝えるために、委員の発言を中心に「共働宣言」として取りまとめました。



こうせいろどうしょう
厚生労働省

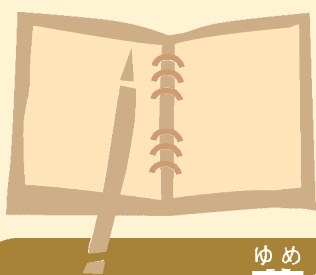
しょうがいしゃ しゅうろうしえん かん ゆうしきしゃこんわかい
「障害者の就労支援に関する有識者懇話会」

へいせい ねん がつ にち
平成16年9月29日

■ 私を頼りにしている人がいる ■

はたら 働いている しょうがい 障害のある人より

わたし たよ ひと
「私を頼りにしている人がいる。
そここそ自分の居場所がある。
そこには自分の出番がある。」



はたら 働きたい！
1

ゆめ もくひょう か
夢や目標を変えなくていい！

しょうがい 障害のある
きぎょうけいえいしゃ 企業経営者
より

くるまい す しょう せいかつ ひと ゆめ
車椅子を使用する生活になったとき、「夢をあきらめなくてはいけないのか？」
と問いかけた私に、医師が言った言葉、「障害があっても夢や目標を変えなく
ていい。夢や目標を叶えるための手段や方法を変えれば良い。」

しゅうろうしえん 就労支援
かんけいしゃ 関係者より

しょうがい ひと つぎ む いこう こんなん
障害のある人は、次のステップに向けて移行するときにさまざまな困難に
しょうぐう しょうがい しえん せんもんか たんきてきしてん
遭遇するが、障害のある人の支援をする専門家は、短期的な視点からではなく、
つぎ ほんにん しょうらい てんぼう おうえん じょげん
次のステップや本人の将来を展望した応援や助言をすべきである。
はじめて であ らしんばん せんもんか ひとこと おも いあも
初めて出会う羅針盤(専門家)としてのあなたの一言はとても重い意味を持って
いることを認識すべきだと思う。

いま はや いま おそ
今からでも早くはない、今でも遅くはない

ほんにん 本人より

しょうがい わたし りょういく がっこうせいかつ なか ひび す
障害がある私は、療育や学校生活の中でははらはら・どきどきの日々を過ごし
ていました。そして就労に向かおうとするときはもっと「とまどい」「ため
らい」を感じます。
いま はや いま おそ
「今からでも早くはない、今でも遅くはない」をモットーに、理解ある支援者
や適切な制度と出会うことによって果敢にそれを乗り越えたいと思っています。

就労支援
関係者より

障害者だ、健常者だという前に、人にはそれぞれに名前があり、個性があります。
「障害者」という決めつけがいろいろな推測や誤解を生じさせます。

自分の障害をみんなが知っている — オープン！

企業経営者・
役員より

「障害について触れられたくない、言われたくない。」
こんな態度が周囲とカベを作っているのかもしれない。
むしろ、気さくにオープンにしてしまう方が良いかもしれない。自分の障害、
できること、できないこと、周囲にも分かってほしいこと、など。
周りの人は意外とこだわっていないという現実気づいてほしい。

働くことは実感すること

福祉団体
関係者より

働くこと、それは生活の糧を得ること、仲間とつながること、自分の可能性に
気づきそれを発揮すること、自分の居場所を見つけること、
そして何よりも自分自身が人生の主人公になること。
そのことによって自らの存在を実感するに違いありません。

仕事を創る 2



全国どこでもみんなのできる作業がある！

福祉団体
代表者より

「メール便」配達事業なら、障害者に向いていると思った。
実際にやってみると、仕事の内容も細分化でき、お客様からありがとうと感謝
される、配達先の犬とも仲良くなれる、セールスドライバーから働く姿勢が
学べる、そしてしっかりと収入になるということが分かった。さらに、
全国どこでも取り組め、広がりも期待できる。

あえて難しい作業を選んだ

福祉団体
関係者より

これまで小規模作業所が行ってきた、「手軽に取り組めるけれど低賃金」という作業ではなく、きちんと賃金が払えて長続きするような作業、しかし特段に難しい作業にあえて取り組み、みんなでがんばった。

社員を育てることは企業の本来の役割

企業経営者・
役員のことば

企業は社員の適性を活かし能力を十分に発揮するよう育て上げたいと思っています。障害のある人を雇用した場合も全く同じです。

「障害者には向かない」という思いこみを捨てたらできた!

企業経営者・
役員より

流通業の業務は大変な仕事なので、障害のある人には向かないと思い、昔は障害のある人が配置された職場に人事の担当者が赴きフォローしていた。しかし、今は障害のある人も一緒に働いている風景が当たり前になり、各職場の同僚や上司が対応できるようになっている。

できる仕事はいくらでもある!

企業経営者・
役員より

障害者には無理、と決め込んでいませんか。会社の中の仕事を棚卸して見ると、それぞれに合ったいろんな仕事が見えてくる。

企業経営者・
役員より

文字が読めなくても、計量器の目盛りがわからなくても、いろいろな工夫をしていますから、障害が重いといわれる人たちでも十分に作業ができるのです。「できないこと」に固執しないという発想の転換が必要なのです。本人の力では越えることのできない高いハードル、越える必要のないバリアーは最初から取り払ってしまえばいいのです。